



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 (株)東京放送ホールディングス
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武田 信二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局経理部長 (氏名) 津久井 直也
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3746-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	88,002	1.2	6,565	24.9	10,857	38.4	7,366	41.0
29年3月期第1四半期	86,993	3.8	5,255	26.3	7,843	21.7	5,224	31.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 30,773百万円 (367.4%) 29年3月期第1四半期 6,584百万円 (27.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	42.19	
29年3月期第1四半期	29.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	733,869	545,406	72.3
29年3月期	707,063	517,430	71.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 530,281百万円 29年3月期 502,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		11.00		17.00	28.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	174,500	1.2	7,000	4.6	11,300	2.8	7,200	5.3	41.25
通期	357,000	0.5	20,000	0.6	27,300	4.2	17,000	5.4	97.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	190,434,968 株	29年3月期	190,434,968 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	15,761,949 株	29年3月期	15,871,409 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	174,600,828 株	29年3月期1Q	174,470,784 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、添付資料P3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国の経済は、企業収益・雇用環境の改善など緩やかな回復基調が続いております。一方、米国の政策動向に伴う影響や中国・新興国経済の減速、地政学的リスクの顕在化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高880億2百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益65億6千5百万円（同24.9%増）、経常利益108億5千7百万円（同38.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は73億6千6百万円（同41.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

◇放送事業セグメント

放送事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は536億3千9百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は30億2千6百万円（同8.1%増）となりました。

放送事業の主力である株式会社TBSテレビは、当第1四半期連結累計期間のタイム収入が205億2千1百万円（前年同期比1.4%減）、スポット収入が219億6千万円（同0.2%増）となりました。タイムセールスでは、レギュラーベースで大きく伸ばしたものの、前年の「リオ五輪バレーボール世界最終予選」の売上反動減をカバーするに至らず、前年を下回りました。スポットセールスでは、関東地区投下量が前年同期比2.7%減と前年を割り込む中、回復基調にある視聴率を背景に、在京5局中唯一前年を上回りました。

株式会社BS-TBSは、当第1四半期連結累計期間で売上高40億4千3百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益6億1千5百万円（同18.3%増）となりました。タイムレギュラーセールスの苦戦が続く中、スポット、ショッピングは単価の向上などで好調に推移し、また、単発セールスもBSオリジナルのゴルフ中継番組「すまいーだカップシニアゴルフトーナメント」を新たに放送するなど新規開拓を行いました。若干の減収となりました。利益面では、コストコントロールに努め増益を確保しました。

株式会社TBSラジオは、6月のビデオリサーチ首都圏聴取率調査においてもトップを記録し、2001年8月調査以来、16年・96期連続で首都圏ラジオ首位の座を守り続けております。スポンサーニーズの変容に伴うタイムレギュラーセールスの不振やスポット地区投下量の減少など、ラジオを取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、radikoやラジオクラウドといったデジタル展開の認知度向上など明るい話題もあります。引き続きコストコントロールを徹底するとともに聴取者の期待に応えてまいります。

◇映像・文化事業セグメント

映像・文化事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は304億5百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益12億5千7百万円（同191.5%増）となりました。

興行では、アジア初の360度回転劇場「IHIステージアラウンド東京」を東京・豊洲にオープンし世界中の注目を集めると共に、こけら落とし公演として「劇団☆新感線 髑髏城の七人 シーズン花」を上演し、大成功を収めました。TBS赤坂ACTシアターでは、4月に恒例の「赤坂大歌舞伎」、6月に「俺節」を上演し、連日立ち見が出る大盛況となりました。映画事業では、映画「チア☆ダン～女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話～」が興行収入12.8億円のヒットとなりました。

メディアビジネス関連では、海外事業において、東南アジア各国へのドラマ、バラエティのセールスが好調で、「SASUKE」のフォーマット販売も堅調に推移し、売上を伸ばしました。ライセンス事業においては、テレビショッピングがヒット商品を中心に売上を伸ばしたほか、アニメ「トミカハイパーレスキュー ドライブヘッド 機動救急警察-」の玩具の売れ行きが大変好調でした。CS事業においては、横浜DeNAベイスターズ、千葉ロッテマリーンズの主催公式戦全試合放送やオリジナル音楽コンテンツの拡充など、視聴者増加に向けた施策を行いました。プラットフォーム加入者の減少に伴い減収となりました。

スタイリングライフグループは、増収増益となりました。中核の小売事業「プラザスタイルカンパニー」は、化粧品や雑貨が好調に推移し、マイナス傾向が続く衣料品をカバーして増収となり、利益面でも在庫コントロールや原価率の見直しを行い、増益となりました。化粧品事業はヒット商品の拡販により好調を維持しました。

◇不動産事業セグメント

不動産事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は39億5千6百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益22億7千6百万円（同12.6%増）となりました。

赤坂Bizタワーは、オフィス、商業施設とも高い稼働を維持しており、堅調に推移しております。

赤坂サカスについては、今後もTBSグループや番組をより身近に感じていただくための様々な催事を行い、放送文化の発信地としての地位を不動のものとするを目標としてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は7,338億6千9百万円で、前連結会計年度末に比べて268億5百万円の増加となりました。受取手形及び売掛金が52億6千8百万円減少、現金及び預金が配当金の支払いや新規関係会社への出資等により39億9千3百万円減少、有形固定資産、無形固定資産が減価償却等により19億3千9百万円減少した一方、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が364億8千7百万円増加したこと等により

(負債)

負債合計は1,884億6千3百万円で、前連結会計年度末に比べて11億6千9百万円の減少となりました。保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が101億1千3百万円増加した一方、未払金が42億4千5百万円減少、未払法人税等が37億9千7百万円減少、支払手形及び買掛金が28億1千5百万円減少、賞与引当金が24億8千8百万円減少したこと等により

(純資産)

純資産合計は5,454億6百万円で、前連結会計年度末に比べて279億7千5百万円の増加となりました。その他有価証券評価差額金が232億8千1百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き43億9千8百万円増加したこと等により

この結果、自己資本比率は72.3%、1株当たりの純資産は3,035円85銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上、利益とも、概ね期首の想定範囲内で推移いたしました。

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間、通期ともに、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,731	65,738
受取手形及び売掛金	42,460	37,191
有価証券	449	449
商品及び製品	7,472	7,777
番組及び仕掛品	6,378	6,787
原材料及び貯蔵品	520	572
前払費用	10,206	10,749
繰延税金資産	3,326	2,154
その他	5,086	6,548
貸倒引当金	△153	△153
流動資産合計	145,479	137,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	200,685	200,930
減価償却累計額	△106,060	△107,430
建物及び構築物 (純額)	94,624	93,500
機械装置及び運搬具	90,149	90,007
減価償却累計額	△79,502	△80,011
機械装置及び運搬具 (純額)	10,647	9,996
工具、器具及び備品	30,972	30,989
減価償却累計額	△28,357	△28,482
工具、器具及び備品 (純額)	2,615	2,506
土地	84,003	84,002
リース資産	4,348	4,353
減価償却累計額	△2,233	△2,343
リース資産 (純額)	2,115	2,010
建設仮勘定	3,786	4,579
有形固定資産合計	197,792	196,595
無形固定資産		
ソフトウェア	3,929	3,652
のれん	18,595	18,146
リース資産	68	58
その他	1,253	1,246
無形固定資産合計	23,846	23,104
投資その他の資産		
投資有価証券	326,689	363,177
長期貸付金	216	209
繰延税金資産	1,161	1,153
長期前払費用	241	202
その他	11,839	11,814
貸倒引当金	△203	△203
投資その他の資産合計	339,944	376,354
固定資産合計	561,583	596,053
資産合計	707,063	733,869

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,130	33,315
短期借入金	769	—
1年内返済予定の長期借入金	5,400	5,400
未払金	12,077	7,832
未払法人税等	6,083	2,285
未払消費税等	1,513	2,166
未払費用	1,620	1,866
賞与引当金	4,684	2,195
役員賞与引当金	107	23
固定資産撤去費用引当金	432	432
その他の引当金	287	308
その他	8,122	10,268
流動負債合計	77,231	66,095
固定負債		
長期借入金	17,000	17,000
環境対策引当金	121	121
退職給付に係る負債	16,206	16,194
リース債務	1,001	911
繰延税金負債	63,201	73,314
その他	14,871	14,826
固定負債合計	112,402	122,368
負債合計	189,633	188,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	50,489	50,542
利益剰余金	267,127	271,525
自己株式	△20,543	△20,413
株主資本合計	352,059	356,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,247	173,529
繰延ヘッジ損益	174	163
為替換算調整勘定	5	3
退職給付に係る調整累計額	△42	△56
その他の包括利益累計額合計	150,385	173,639
非支配株主持分	14,985	15,125
純資産合計	517,430	545,406
負債純資産合計	707,063	733,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	86,993	88,002
売上原価	59,263	59,269
売上総利益	27,729	28,732
販売費及び一般管理費	22,474	22,167
営業利益	5,255	6,565
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	2,485	3,823
持分法による投資利益	216	402
その他	146	234
営業外収益合計	2,853	4,466
営業外費用		
支払利息	168	99
固定資産除却損	15	17
その他	82	56
営業外費用合計	265	173
経常利益	7,843	10,857
特別利益		
投資有価証券売却益	17	70
特別利益合計	17	70
特別損失		
投資有価証券評価損	121	—
特別損失合計	121	—
税金等調整前四半期純利益	7,739	10,928
法人税、住民税及び事業税	1,580	2,344
法人税等調整額	996	1,067
法人税等合計	2,577	3,411
四半期純利益	5,162	7,516
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△61	149
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,224	7,366

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	5,162	7,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,714	23,278
繰延ヘッジ損益	△151	△9
為替換算調整勘定	△64	△1
退職給付に係る調整額	△12	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△64	1
その他の包括利益合計	1,421	23,257
四半期包括利益	6,584	30,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,643	30,620
非支配株主に係る四半期包括利益	△59	152

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,561	29,670	3,760	86,993	—	86,993
セグメント間の内部売上高又は 振替高	472	700	1,386	2,558	△2,558	—
計	54,033	30,371	5,146	89,552	△2,558	86,993
セグメント利益	2,800	431	2,022	5,254	1	5,255

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,639	30,405	3,956	88,002	—	88,002
セグメント間の内部売上高又は 振替高	442	779	1,356	2,579	△2,579	—
計	54,081	31,185	5,313	90,581	△2,579	88,002
セグメント利益	3,026	1,257	2,276	6,560	4	6,565

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

㈱TBSテレビ事業収入の内訳 (第1四半期)

(単位:百万円)

区分	前第1四半期 (28.4.1~28.6.30)	当第1四半期 (29.4.1~29.6.30)	比較		前事業年度 (28.4.1~29.3.31)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	45,767	45,865	98	0.2%	184,654
タイム・番組制作	20,804	20,521	△282	△1.4%	85,388
スポット	21,909	21,960	51	0.2%	86,240
その他	3,053	3,383	330	10.8%	13,024
事業	7,562	7,376	△186	△2.5%	28,997
不動産	743	773	29	3.9%	3,065
合計	54,073	54,015	△57	△0.1%	216,717